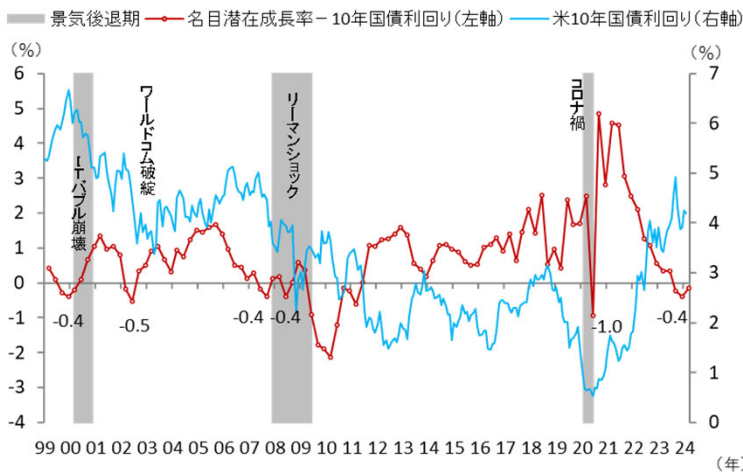




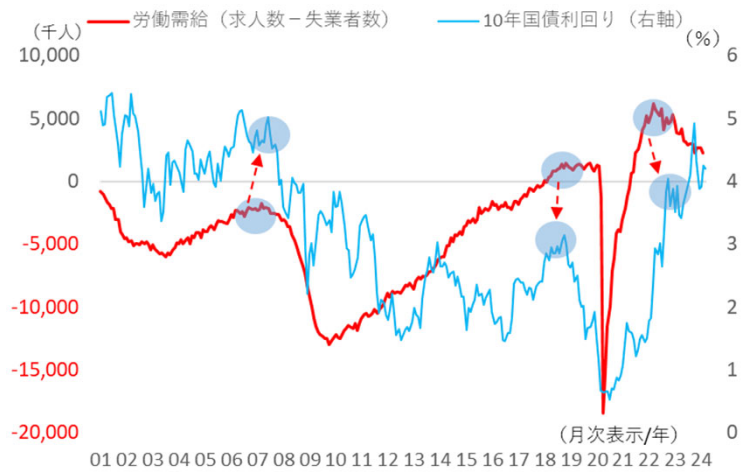
米10年国債利回りの先行きは？

- 過去を紐解くと「米名目潜在成長率と10年国債利回り3ヶ月平均」格差の▲0.4%越え後、金利は低下した（図1）
- 10年国債利回り2Q滑り出し（4/5）は4.4%、潜在成長率は約4%（CBO推計）なので格差は瞬間風速参考値ながら▲0.4%に（図1）
- 過去の傾向を踏まえると、この先の金利上昇余地は大きくないと思料
- 労働需給ピークアウト後にやや時間差を伴いながら10年国債利回りが頭打ち～低下に至る過去の経緯も上記見立てを追認（図2）
- 10年国債利回りは銅価格を約9ヶ月遅れてトレースする過去の傾向も今後の金利上昇余地が限定的であることを示唆（図3）
- 銅価格の足元の上昇からすると年末頃の金利上昇を示唆（図3）

【図表1】米名目潜在成長率－10年国債利回り3ヶ月平均の ▲0.4%越え後に金利は低下



【図表2】労働需給ピークアウト⇒大局観では金利は低下へ



【図表3】米10年債利回りは低下一服～当面は横ばい圏推移へ



（図表1～3）Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

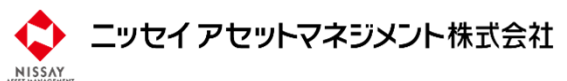
※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>